

中山間地域創生総合戦略検討会等での主なご意見

第10回富山県中山間地域創生総合戦略検討会

令和7年10月9日

1. 検討会での主なご意見①

観点1：地域コミュニティの自治力強化、地域の保全

- 中山間地域は都市部に比べてコミュニティがしっかりとまだ残っているところが強み。
- 話し合い促進事業であったり、チャレンジ支援事業であったり、農村RMOに手を挙げられない地域への支援が必要。
- 情熱のあるリーダーを中心にまとめ、自分事として自治力を発揮している地域を優先的に支援すべきではないか。
- 地域運営組織の割合をぜひ増やしてほしい。
- 地域が地域に学ぶことで専門家がいない場合もある。地域づくりの取組みをされている地区、地域同士の情報交換・交流が必要。
- 地域で新しく事業を始める人や移住者と地元の人を取り持つ接着剤となる人材が必要。
- 若者や女性が地域の自治組織内に入る流れが必要。
- 地域おこし協力隊や移住者に対して、地域住民の受け入れ態勢を整えることが必要。
- 特定地域づくり事業協同組合は、いろいろな仕事を組み合わせることによって、「担い手不足を解消する」「移住者の仕事を生み出す」「若者の所得増大を図る」ことが可能となる。
- 子育て世代の方々が中山間地域に移住する中で「教育」に困っている。教育の確保についても検討が必要。

1. 検討会での主なご意見②

観点2: 地域の特性を活かした経済の活性化

- 中山間地域だからこそその強みを発揮できる産業、ビジネスを作っていくことが重要。
- 中山間地で農業をわざわざやる意味は何なのかといったら、付加価値を出した農産物を作っていくことではないか。中山間地域各々の魅力やこだわりに惹かれる若者が来てくれるとよい。
- 通信インフラを活用した鳥獣害対策や中山間地でのスマート農林業の普及・生産性の向上に一層取り組んでいく必要がある。

観点3: 安心・安全な暮らしの確保

- 買い物支援等の観点からオンデマンド交通、自家用車のライドシェアを積極的に導入していくべきではないか。
- 通信インフラの活用により高齢者が健やかに暮らせる、元気でいられるためにできることがたくさんあるのではないか。
- 地域の困りごとを地域や行政だけでは解決できなくても、民間企業やNPOと連携することで解決できるものがあると思う。

総合戦略全体、中山間地域の目指す姿に関して

- どんどん力が失われていく地方の象徴的な中山間地域こそが次の仕事とか暮らしのフロンティアになるという気概をもった戦略を出していくことが重要。
- 女性に選ばれる中山間地域という視点が必要。
- 中山間地域の活性化には、県民よりもっと広いみんな（関係人口等）で取り組むことが必要。

2. 新たな総合計画策定過程等での主なご意見

中山間地域の活性化に関して

- 富山県は県土の7割が中山間地域であり、中山間地域の振興という視点が重要。
- 地域づくりにおいては、そこに暮らす人々の意識やつながりといった「人づくり」が重要。
- 多様な人材がまちづくりに参画し、まちの魅力や活性化につなげるためには、若者や女性、移住者等が馴染みやすい、受け入れてもらえると感じられる雰囲気づくりが必要。
- 住民だけでは限界にきている地域もたくさんある。移住の促進、外部人材の活用といったいろいろな部分から重層的に取り組むべき。
- 新たな総合計画の12の政策分野を中山間地域創生総合戦略に盛り込み、よりトータルに中山間地域の振興に取り組むべき。

中山間地域の活性化に関連するご意見

- 人口減少がもう避けられないものだとなれば、それを少しでも緩和し、また、人口減少社会にどう適応していくのかということが非常に重要な取り組みとなる。
- 雄大な自然や美しい田園風景、美味しい水、多彩な祭りや伝統文化が継承・発展している富山県を目指すべき。
- 自動運転の導入、ドローンを活用した物流、AIやロボットを活用し、便利で豊かに暮らしを目指すべき。
- 地域でお互いに助け合いながら、住み慣れた地域で安全で健やかに暮らしていきたい。